

コース 34 ほおざかやま だけやくし 朴坂山・嶽薬師縦走

リーダー CL K/T SL M/T
 実施日 平成20年11月3日(月)
 天候 曇りのち風と雷一時小雨、のち曇りで晴間も有
 参加者 27(男性 7 女性20)
 グレード B上

コースポイント

ポイント	到着時間	出発時間	備考
区役所前		6:45	
道の駅「加治川」	7:45	8:00	予定 R290 経由を R7 経由に変える
朴坂登山口	8:30	8:50	急登も要所要所からの遠望は曇りで利かない。分岐で雨具着ける。
要害山分岐	10:25	10:30	
朴坂山々頂	10:50	11:10	雨は、山頂までで終わるが、早々に移動する
中峰	12:20	12:30	段々天気も良くなってきたせいもあり、「なかなか良い縦走路だ」との声しきり
嶽薬師登山道合流	12:50	12:55	
嶽薬師山頂	13:00	13:50	薬師堂の裏手のブナ林で、ゆっくり昼食
下山口車道	15:05	15:30	ウガイ清水、姥杉、油こぼしの展望を楽しむ
道の駅「加治川」	15:55	16:10	
区役所前	17:15		

山行等概要(幹事のコメント)

- ・ 11月3日と言えば、元々「晴れ」の特異日のはずだったが、昨年に引き続いて予報は雨ということで、担当幹事としては残念な気持ちで迎えた。(昨年は計画した徳網山(山形県)を止めて県北の虚空蔵山に変更した。)
- ・ しかし、悪天候予報も、実際には、要害山分岐(朴坂主稜線)に上った時から、山頂までの20分間、風と小雨と雷に会うだけにとどまり、ホットした。一番怖いのは、雷だが、“ピカドン”までに来なかったのがよかった。
- ・ 今回の「幹事コメント」は天候のことで終始したが、一年も前の計画で、個人の意思ではどうにもならないながら、実施段階で、最も気がかりなのは、その日の天候であり、山行を担当する幹事の心労の一端を披露させて頂いた。



朴坂山々頂

この会に入会し6年になります。

私の自慢は自称「晴れ女」。寒さで雨具を着けた事はあっても、雨で着たという事はまずありませんでした。

しかし、今回は私が敵わない強力な「雨男」「雨女」がおられた様です。

秋真っ只中の登山道、色付いた木々の葉を見ながらのスタートです。けれど、何時雨になるか、山はガスに包まれ眺望が効きません。そしてついに雨！ 風も強くなりおまけに雷も鳴りだす始末です。展望場では「良い景色が見えたつもり」と通過、景色は殆んど見えないまま、雷の音に身を縮めながら頂上を目指し歩きました。

無事、朴坂山頂上に着きましたが雨は止まずで、昼食を摂るところではありません。嶽薬師でゆっくり休憩をとる事になりエネルギー補給のオニギリを一個だけ、雨具の帽子の滴を受けながら、皆で立ち食いし、すぐに出発となりました。

途中の飯豊展望台は「杵差」が良く見えるらしいのですが「見えたつもり！」。とここも立ち止まる事なく無情にも通過。

幸いな事に雨がゆっくり止んで来ましたが、目の前は140米を一気に下る急斜面！ しっかりした道はあるものの粘土質の道は滑りやすくかなり神経を使います。両脇の笹と小枝をつかみつかみ、どうにか無事滑る事なく難所越えを終えました。

嶽薬師に着いた時は雨も上がり、木立に囲まれた社の後ろの広場でやっと、ゆっくりの昼食タイムとなりました。

「リーダー」Tさんが大変美味しそうにビールを飲まれています。

ここからの下りは目の前、頭上の紅葉を見ながらゆっくりノンビリの下山でした。途中に樹齢850年という「姥杉」が周りを圧倒するかの様に凜とした姿で立っていて、身が引き締まる

思いがし、思わず手を合わせてしまいました。

終わってしまえば、お天気は関係なく、笑い声が聞こえ続けた楽しい山歩きでした。今回一緒だった皆様、お世話になりました。悪天候ながら怪我人もなく帰ってこれました。Tリーダー、副リーダーに感謝いたします。ありがとうございました。



嶽薬師山頂